

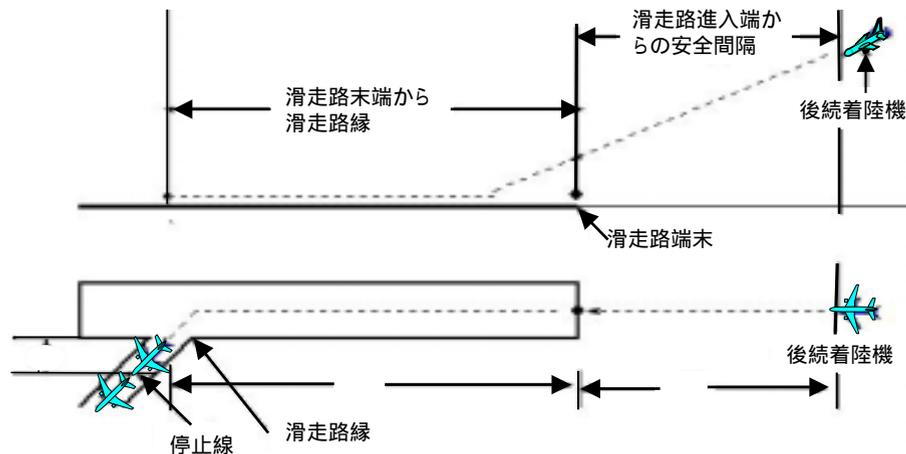
## 滑走路処理容量算出方式（着陸機が連続する場合）

着陸機 1 機あたりの処理時間は、以下の ~ の時間の合計

滑走路進入端から 1 マイルの地点（着陸か又は着陸復行の決断点）までの所要時間（仮置きとして 30 秒）

滑走路進入端を通過して滑走路縁を通過するまでの所要時間（滑走路占有時間）

滑走路縁から着陸帯を通過するまでの安全間隔としての時間（実測により 15 秒）



(例) を 30 秒、 を実測により 15 秒とし、 を滑走路占有時間の実測値に基づく着陸復行の発生を極力低下させること等を勘案した値を次のとおりとした場合の 1 時間当たりの着陸機処理機数は、

77 秒 (平均滑走路占有時間は約 5.8 秒) の場合 :  $3600 \div (15 + 30 + 77) = 29$  回 / 時